

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山県岡山市立加茂小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒701-1346

岡山県岡山市北区津寺517番地

E-mail kamos@city-okayama.ed.jp

Website http://www.city-okayama.ed.jp/~kamos/

幼児児童生徒数 男子 116 名 女子 120 名 合計 236 名

幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

1年生 「がっこうだいすき」 (5月～6月 8h 児童39名)

学校生活に慣れ、自分の思いや考えを十分に伝えることができるようにするため、生活の学習において2年生との合同学習で学校探検を行った。1年生と2年生がグループをつくり、探検することで自分たちの学校を理解するのに役立てた。また国語の時間に2年生にお礼状を書くとともに、見たことや感じたことを絵と作文に書き、参観日に保護者へ絵を見せながら発表した。



2年生 「どきどきわくわくまちたんけん」 (5月～6月 16h 児童36名)

生活科の学習で、学区の中の公共施設や文化財に目を向けたり、自然の面白さを見つけ、お互いに伝え合ったりまとめたりする学習を行った。また、学区の公共施設を使った経験を話し合う活動を通して、公共施設で働く地域の人々の願いや公共施設の良さに気づいた。さらに、中学校区内の公共施設にも見学に行き、地域の人々の公共施設の利用の様子を聞いた。調べたことを地図にまとめ、参観日に掲示した。



3年生「お宝発見！加茂の町」（4月～11月 50h 児童41名）

社会科「たんけんしゅっぱつ」で作成した地図を見直し、もっと知りたいことについてホワイトボードを使いながらグループで話し合った後、地域の人から学区のお宝について話を聞いた。お話を聞いてもっと調べたいと思ったところ（お寺、神社、歴史遺産など）へグループごとに見学に行き、インタビューをしたり施設を見学したりした。

見学後、わかったことを模造紙にまとめ、学習発表会で教えてくださった地域の人や、保護者に向けて発表した。



4年生「見つめよう！わたしたちの足守川」（4月～3月 70h 児童43名）

社会の時間に、岡山市のごみや上水道、下水道について学習した。「水から広がる学び」のワークショップから、身近な川である足守川に関心をもつことができた。その後、地元の高校生とともに、学校のそばを流れている足守川のごみの状況や水質、魚や生き物の種類と分布について調べた。

調査を受けて、「足守川のためにできること」を考え、水をきれいにするための啓発ポスターを描いた。また、学習発表会や休み時間を利用して、節水に関する劇や紙芝居をして、たくさんの人に水の大切さを伝えることができた。



5年生「お米、再発見！」（4月～11月 50h 児童47名）

社会科「日本の農業」の授業において米づくりを学習した。また、家庭科「ごはんのみそ汁」の授業でごはんの栄養と調理の方法について学んだ。学習と平行して米づくりを体験的に学ぶため、学習計画を立て、地域の米づくり農家の方からもみまきや稲刈りの指導を受け、米づくりを体験した。米づくり体験や地域の米づくり農家の方へのインタビューを通して、地域での米づくりへの喜びや課題を理解した。

11月の学習発表会で保護者や地域の方に学習したことを発表するとともに、2月には米づくり農家の方を招待し感謝の会を開き感謝の気持ちを伝えた。



5年生「加茂っ子よい食プロジェクト」（1月～3月 20h 児童47名）

「世界の食卓」についてのワークショップを通して、世界の様々な食文化に興味をもち、世界の食文化について調べ学習を行った。2学期までに学んだ、米を中心とした日本の食文化と、世界の食文化を比較することで、日本の食文化への理解を深めることができた。

6年生「われら加茂の子」（4月～11月・2月 40h 児童31名）

社会科「古墳を調べる」の授業で地域の歴史遺産である古墳について、地域の方たちに教えてもらう中で、地域の方たちが歴史遺産を守り続ける思いや努力を知り、地域の誇りある歴史を子どもたちが理解した。

「世界がもし100人の村だったら」のワークショップを通して、世界の様々な国に興味をもつことができた。そこから、造山古墳を守り伝えていく取り組みと、世界遺産のそれと比較することで、人類の残した文化遺産を大切にしたいという共通であることに気付いた。学習発表会で、学んできたことを劇にまとめ、保護者や地域の方々に発表した。

この歴史遺産を将来に継承していくために自分たちに何ができるかを考え、造山古墳蘇生会の方たちの協力を得て、2月に保護者と一緒に造山クリーン作戦を行い、実践を深めた。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

「写真で学ぼう！地球の食卓セット」開発教育協会
「参加型学習で学ぶ 国際理解教育基本セット」開発教育協会
「日本と世界の水事情 水から広がる学び」開発教育協会

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

「活用の概要」に示した活動を、低学年は生活科、中学年以上は総合的な学習の時間の指導計画に学習活動を位置づけ、教科の目標と関連付けながら、確実に実施できるようにしている。また、国語科、社会科、道徳など、他教科の学習内容との関連を考え、教科横断的な学習活動が展開できるよう指導計画を立てている。

また、授業のめあてや児童の思考の流れに応じて、ボーン図やピラミッド図などの思考ツールを活用したり、グループ学習の際にホワイトボードを活用したりして、指導方法を工夫改善するよう努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ユネスコスクールとしての活動が充実するように、学校関係以外に地域の代表者にも参加していただいている「高松中学校区 ESD 推進協議会」を設置し、円滑に活動できるようにするとともに、地域の方々の協力をいただきやすくしている。校内分掌として、ESD・ユネスコスクール担当を作り、各学年と連携しやすい組織作りに心がけている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

次年度の教育課程編成へ向けて、全教職員で実施状況について考える機会をもっている。また、「学校評価アンケート」で保護者からの評価をいただいている。保護者からは理解と評価を頂けている。また、「地域協働学校推進協議会」で活動を報告し、外部からの意見をいただくとともに評価をいただくようにしている。活動に対しては理解と評価をいただけている。課題としては、地域でかかわっていただける方が高齢であり、これからも支援がいただけるかどうか不透明な点である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

加茂小学校の WEB ページに、各学年の活動として発信している。
参観日や学習発表会などの機会を利用して、学習したとことを保護者や地域の皆さんへ発表している。また、4年生は、交流のあった高松農業高校の生徒へ向けて、自分たちが調べたことを発表し、交流を深めている。5年生は、学習のまとめとして、米作りに協力して下さった農家の方や JA 高松のみなさんをお招きして「感謝の会」を開き、活動の成果を伝えるようにしている。
これらのことにより、児童の地域を大切に思う気持ちが高まるとともに、地域の方々からの協力もこれまで以上に得られるようになってきている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

3年生の「お宝発見加茂の町」や6年生の「われら加茂の子」では、造山古墳蘇生会の方の協力を得て、造山古墳についての学習を行っている。
5年生「お米、再発見！」では、地域の農家の方や JA 高松の職員の協力を得て、田植えや稲刈りなどの体験学習を実施している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

4年生の「みつめようわたしたちの足守川」では、高松農業高校の「高農環境を考える会」と計5回の交流学习を行っている。6月～7月に第1回目の水質調査、水生生物調査を実施し、9月～10月に第2回目を実施している。2回の調査の結果を比較することで、児童の学習を深めることができている。さらに、11月上旬には、足守川の学習をきっかけに児童自らが学んできたことを高校生へ向けて発表している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

活動の概要に示した活動は以前から行っていたものであるが、ユネスコスクールに認定される前は、どうしたら活動が深まるかを考えて計画していただけであった。夏休みに教職員向けの研修で、今までしてきた活動をどのようにすればESDの視点を加えることができるか話し合った。教職員の意識が変わることで、活動の目標がより明確になってきている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

生活科や総合的な学習の時間で、以下の活動を予定している。

- <1年生> 「がっこうだいすき」
- <2年生> 「ときどきわくわくまちたんけん」
- <3年生> 「お宝発見！加茂の町」
「やさしさ発見！加茂の町」
- <4年生> 「見つめようわたしたちの足守川」
- <5年生> 「お米、再発見！」
「加茂っ子 よい食プロジェクト」
- <6年生> 「われら加茂の子」

地域の諸団体と連携した取り組み（町内会、公民館、環境衛生組合、蘇生会、保興会）「田んぼの学校」「まほろば祭り」「古墳祭り」「地域の運動会」「クリーン作戦」「防災キャンプ」「公民館祭り」「高松地区健康マラソン」